

令和7年度 第2回
北九州市上下水道事業審議会

次期中期経営計画の策定について

令和7年11月5日
北九州市上下水道局

目 次

1	令和7年度第1回審議会（前回）のおさらい	・ ・ ・	1
2	次期中期経営計画中の財政収支見通し（案）	・ ・ ・	3
3	次期中期経営計画（事務局案）	・ ・ ・	10
4	令和6年度決算の概要	・ ・ ・	12

1 令和7年度第1回審議会のおさらい

(1) 事務局説明：次期中期経営計画期間中の事業計画に関する基本的な考え方

- 基本理念（安全・安心な水環境を次世代へ）や能登半島地震を契機とした強靱化への要請を踏まえ、「北九州市上下水道事業基本計画2030」策定時に掲げた施設強靱化の効果が得られるよう、着実に事業を推進。

(2) 委員からの主な意見

- 北九州市の人口が減少する中、人口密度等の要素を踏まえ、将来にわたって維持する施設や当面の間維持する施設など、地区別の施設のあり方を整理し、維持管理コストを削減する必要があるのではないか。
- 施設効率化の観点から、送水管を更新するのではなく、給水車で配水池へ水道水を運搬し、各家庭に供給する運搬給水といった方法を採用することも考えてはどうか。
- A I の活用について、全国的な話にもなると思うので、社会貢献という意味でも、実証実験のために上下水道局がフィールドを提供することを通じて、上下水道事業のPRになるのではないかと。
- 北九州市の水道は誇れる財産である。昔は断水が度々発生していたが、現在はそのようなこともない。水道使用者に対して、水道の大事さや水道を供給するうえでの苦労等を広報していく必要があるのではないかと。
- 水道使用者にとって、施設の老朽化への対応や災害リスクへの備えというのが一番気になるところである。上下水道事業に関する昨今のマスコミ報道を見ている中で、北九州市の上下水道事業に対しては、とても信頼を高く持っている。
- 事業計画は事務局案で概ね良いと考えるが、これまで北九州市が実施してきた下水汚泥の肥料化を計画に盛り込んでどうか。

2 次期中期経営計画期間中の財政収支見通し（案）

2 次期中期経営計画中の財政収支見通し（案） （1）財政収支見通し i 水道事業

（単位：百万円、消費税込）

		R8	R9	R10	R11	R12
	配水量（千m ³ /年）	101,732	100,937	100,143	99,348	98,554
	有収水量（千m ³ /年）	92,576	91,853	91,130	90,407	89,684
	有収率（%）	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%
収益的収支	収益的収入	19,796	19,734	19,768	19,586	19,464
	料金収入（原水除く）	14,938	14,845	14,751	14,658	14,564
	口径別納付金	387	387	387	387	387
	その他	4,472	4,503	4,631	4,542	4,513
	収益的支出	21,226	21,412	21,918	22,431	22,910
	人件費	2,433	2,433	2,433	2,433	2,433
	維持管理費	3,579	3,638	3,717	3,796	3,848
	浄化費用	1,477	1,506	1,537	1,567	1,599
	減価償却費等	9,240	9,353	9,620	9,858	10,058
	企業債利息	764	882	1,025	1,171	1,318
	その他	3,733	3,600	3,587	3,606	3,654
	収支差引	▲ 1,430	▲ 1,679	▲ 2,150	▲ 2,845	▲ 3,446
資本的収支	資本的収入	9,218	10,487	10,577	10,330	10,288
	企業債	7,990	9,080	9,310	9,120	9,140
	国県補助金	245	450	386	329	266
	その他	983	957	881	881	881
	資本的支出	16,604	18,221	18,684	17,447	16,672
	整備費	11,095	12,593	13,042	11,735	11,047
	企業債償還金	3,483	3,397	3,322	3,312	3,267
	その他	2,025	2,231	2,320	2,401	2,358
	収支差引	▲ 7,385	▲ 7,734	▲ 8,106	▲ 7,116	▲ 6,385
	補填財源	6,824	6,745	6,544	6,096	5,711
	単年度資金収支	▲ 561	▲ 989	▲ 1,562	▲ 1,020	▲ 673
	累積資金剰余	2,167	1,177	▲ 385	▲ 1,405	▲ 2,078
	企業債残高	67,943	73,626	79,614	85,423	91,295

○物価の高騰により維持管理費や浄化費用などの支出額は増加する見込みであり、収益的支出は現中期経営計画と比較すると5年間で約128億円の増加を見込む。

○施設整備についても、労務単価や資材価格の高騰などにより、現中期経営計画と比較すると185億円増加して約595億円の事業費を見込む。

○令和10年度に約4億円の資金不足を見込む。

2 次期中期経営計画中の財政収支見通し（案） （1）財政収支見通し ii 水道用水供給事業

（単位：百万円、消費税込）

		R8	R9	R10	R11	R12
	有収水量（千m ³ /年）	9,490	9,516	11,129	11,129	11,129
収 益 的 収 支	収益的収入	1,231	1,196	1,331	1,329	1,330
	料金収入	1,018	1,021	1,189	1,189	1,189
	その他	213	175	142	140	141
	収益的支出	1,009	1,022	1,323	1,319	1,312
	人件費	56	56	56	56	56
	維持管理費	350	365	452	460	439
	浄化費用	148	155	163	171	180
	減価償却費等	357	354	467	458	464
	企業債利息	55	51	91	86	82
	その他	42	42	95	87	91
	収支差引	222	174	8	10	18
資 本 的 収 支	資本的収入	1,618	1,167	64	64	64
	企業債	601	457	0	0	0
	国県補助金	351	189	0	0	0
	その他	666	522	64	64	64
	資本的支出	1,894	1,492	320	396	373
	整備費	1,631	1,221	48	120	92
	企業債償還金	200	204	208	212	218
	その他	64	67	64	64	64
	収支差引	▲ 276	▲ 324	▲ 255	▲ 331	▲ 309
	補填財源	482	431	356	351	365
	単年度資金収支	205	106	101	20	55
	累積資金剰余	410	516	617	637	693
	企業債残高	4,320	4,574	4,366	4,155	3,937

○令和10年度から行橋市・苅田町への用水供給事業が開始されることに伴い、料金収入と減価償却費等が増加する予定である。

○施設整備については、令和9年度まで両市町への用水供給事業の拡大にかかる施設の新設を予定している。

(単位：百万円、消費税込)

		R8	R9	R10	R11	R12
	契約水量（千m ³ /日）	216	217	217	221	221
収益的収支	収益的収入	2,195	2,222	2,218	2,255	2,249
	料金収入	1,883	1,893	1,886	1,934	1,943
	その他	313	328	332	321	306
	収益的支出	2,087	2,147	2,173	2,228	2,201
	人件費	223	223	223	223	223
	維持管理費	582	610	598	616	565
	浄化費用	328	335	342	349	357
	減価償却費等	804	821	843	862	870
	企業債利息	52	59	67	76	84
	その他	97	99	100	101	103
	収支差引	108	75	45	28	47
資本的収支	資本的収入	649	707	720	675	649
	企業債	420	480	480	450	390
	国県補助金	49	46	60	45	79
	その他	180	180	180	180	180
	資本的支出	1,433	1,570	1,555	1,452	1,357
	整備費	1,098	1,248	1,260	1,157	1,063
	企業債償還金	127	128	102	102	100
	その他	207	194	194	194	194
	収支差引	▲ 783	▲ 863	▲ 835	▲ 777	▲ 708
	補填財源	764	747	739	741	773
	単年度資金収支	▲ 19	▲ 116	▲ 96	▲ 36	65
	累積資金剰余	1,357	1,241	1,145	1,109	1,174
	企業債残高	3,543	3,895	4,272	4,621	4,910

○物価の高騰により維持管理費や浄化費用などの支出額は増加する見込みであり、収益的支出は現中期経営計画と比較すると5年間で約21億円の増加を見込む。

○施設整備についても、労務単価や資材価格の高騰などにより、現中期経営計画と比較すると13億円増加して約58億円の事業費を見込む。

2 次期中期経営計画中の財政収支見通し（案） (1) 財政収支見通し iv 下水道事業

（単位：百万円、消費税込）

		R8	R9	R10	R11	R12
有収水量（千m³/年）		88,809	88,465	88,121	87,777	87,433
収益的収支	収益的収入	27,008	27,106	27,011	27,048	27,051
	下水道使用料収入	14,026	13,956	13,746	13,536	13,326
	一般会計繰入金	5,940	6,020	6,033	6,251	6,334
	その他	7,042	7,130	7,233	7,261	7,391
	収益的支出	27,474	27,964	28,458	28,931	29,595
	人件費	1,025	1,025	1,025	1,025	1,025
	維持管理費	7,550	7,709	7,871	8,037	8,303
	動力費・薬品費以外	6,360	6,491	6,626	6,764	6,906
	動力費・薬品費	1,191	1,218	1,245	1,273	1,397
	減価償却費等	16,459	16,591	16,734	16,839	17,014
	企業債利息	1,348	1,521	1,711	1,906	2,121
	その他	1,091	1,118	1,117	1,124	1,132
	収支差引	▲ 466	▲ 859	▲ 1,447	▲ 1,882	▲ 2,544
資本的収支	資本的収入	16,692	18,632	19,086	18,819	19,257
	企業債	10,125	10,274	10,401	10,009	10,190
	国庫補助金	5,040	5,400	5,420	5,030	5,210
	その他	1,527	2,958	3,265	3,780	3,857
	資本的支出	27,180	28,867	29,091	28,687	28,958
	整備費	16,392	16,751	16,919	16,071	16,463
	企業債償還金	6,963	7,870	7,956	8,319	8,054
	その他	3,825	4,245	4,215	4,297	4,441
	収支差引	▲ 10,489	▲ 10,234	▲ 10,005	▲ 9,868	▲ 9,701
補填財源		10,447	10,137	9,638	9,267	8,715
単年度資金収支		▲ 41	▲ 97	▲ 367	▲ 600	▲ 985
累積資金剰余		2,324	2,227	1,860	1,260	275
企業債残高		137,913	140,317	142,762	144,452	146,588

○物価の高騰により維持管理費などの支出額は増加する見込みであり、収益的支出は現中期経営計画と比較すると5年間で約71億円の増加を見込む。

○施設整備についても、労務単価や資材価格の高騰などにより、現中期経営計画と比較すると226億円増加して約826億円の事業費を見込む。

2 次期中期経営計画中の財政収支見通し（案） （2）水道事業の経営改善への取組

○水道事業については、「北九州市上下水道事業基本計画2030」で、令和9年度に7億円の資金不足との見通しであったが、今回の財政計画では、令和10年度に4億円の資金不足が見込まれる。

○これを受けて、施設規模の最適化や資産の有効活用など、経営改善（更なる経費節減や新たな増収対策など）に資する取組による効果、各年度の予算・決算の状況などを踏まえつつ、料金体系のあり方の検討を進める。（下表のとおり）

		項目	取組内容	効果
経費節減	施設規模の最適化	水道施設の統廃合	配水池の統廃合	・維持管理費・更新費の削減、耐震化率向上
			水圧計の統廃合	・維持管理費・更新費用の削減
		水道施設の廃止	送水管・配水管の廃止	・維持管理費・更新費用の削減、耐震適合率の向上
		遠隔監視装置の通信方式見直し	使用回線の変更	・通信費の削減
	戦略的な配水管更新	配水管更新の効率化	A I を活用した配水管更新（更新箇所の選定、縮径）	・効率的な更新の実施、縮径による費用削減
増収対策	広域化	水道用水供給事業の拡大	行橋市・苅田町への供給開始	・水道施設使用料の確保 （「福岡県水道広域化推進プラン」（R5.3、福岡県））
			中間市・鞍手町への供給検討	
	土地売却	未利用地の活用	未利用地の売却	・売却収入の確保
	土地賃貸		未利用地の賃貸	・賃貸収入の確保
サービス向上策	事業の持続性	政策連携団体との連携強化	業務委託の拡大（包括業務委託導入の検討）	・持続可能な水環境を維持するための人材確保・技術継承
	安定給水	漏水調査の効率化	人工衛星とA I を活用した漏水調査	・管路破損個所の早期発見による安定給水の確保・二次災害の削減
		施設の強靱化	適切な施設の更新・耐震化	・安全で安定的な給水の確保

○水道事業の財政収支見通しについては、まずは、経営改善に取り組むこととし、その効果等を踏まえて、資金不足となる前に、料金のあり方の検討を含めて、改めて審議いただきたい。

○その他の事業については、現下の社会経済情勢や事業の公益性を踏まえ、企業債を活用しつつ、事業を推進したい。（令和6年度第1回北九州市上下水道事業審議会資料P69）

3 次期中期経営計画（事務局案）

別紙1のとおり

4 令和6年度決算の概要

4 令和6年度決算の概要 (1) 水道事業

(百万円、税込)

	中期計画 A	予算 B	決算 C	C - A	C - B
収益的収入 ①	19,756	20,144	19,608	▲ 149	▲ 536
料金収入	15,178	15,151	15,046	▲ 132	▲ 105
口径別納付金	451	387	342	▲ 109	▲ 45
その他	4,127	4,606	4,220	92	▲ 387
収益的支出 ②	19,440	21,141	19,446	7	▲ 1,694
人件費	2,700	2,593	2,433	▲ 266	▲ 159
維持管理費	3,177	3,404	3,241	64	▲ 163
減価償却費等	8,307	8,875	8,826	519	▲ 49
企業債利息	713	714	632	▲ 81	▲ 82
その他	4,543	5,555	4,314	▲ 229	▲ 1,241
収支差引 ③=①-②	317	▲ 997	161	▲ 156	1,158
資本的収入 ④	4,082	6,740	5,345	1,264	▲ 1,395
企業債	3,280	5,515	5,032	1,752	▲ 483
その他	802	1,225	313	▲ 488	▲ 912
資本的支出 ⑤	12,702	14,647	14,433	1,731	▲ 215
整備費	7,844	8,997	9,835	1,991	838
企業債償還金	3,236	3,405	3,400	164	▲ 5
その他	1,622	2,246	1,198	▲ 424	▲ 1,048
収支差引 ⑥=④-⑤	▲ 8,620	▲ 7,907	▲ 9,087	▲ 467	▲ 1,180
補 填 財 源 ⑦	7,700	6,519	8,836	1,137	2,317
単 年 度 資 金 収 支 ⑧=⑥+⑦	▲ 920	▲ 1,388	▲ 251	669	1,137
累 積 資 金 剰 余	2,306	1,501	3,938	1,632	2,436
企 業 債 残 高	59,425	63,759	59,854	429	▲ 3,905

※表中の数字は四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と合計が必ずしも一致しない。

4 令和6年度決算の概要 (2) 水道用水供給事業

(百万円、税込)

	中期計画 A	予算 B	決算 C	C - A	C - B
収益的収入 ①	905	903	850	▲ 55	▲ 53
料金収入	788	788	756	▲ 32	▲ 32
その他	117	115	94	▲ 22	▲ 21
収益的支出 ②	819	898	812	▲ 7	▲ 86
人件費	62	61	56	▲ 6	▲ 5
維持管理費	219	223	193	▲ 27	▲ 31
減価償却費等	308	305	304	▲ 4	0
企業債利息	62	63	61	▲ 2	▲ 2
その他	168	246	198	30	▲ 48
収支差引 ③=①-②	86	5	38	▲ 47	33
資本的収入 ④	20	465	86	66	▲ 378
資本的支出 ⑤	276	666	302	26	▲ 364
整備費	66	268	112	46	▲ 156
企業債償還金	190	191	190	0	▲ 1
その他	20	208	0	▲ 20	▲ 208
収支差引 ⑥=④-⑤	▲ 256	▲ 202	▲ 216	41	▲ 14
補 填 財 源 ⑦	304	222	275	▲ 29	53
単年度資金収支 ⑧=⑥+⑦	48	20	59	12	39
累積資金剰余	196	104	205	9	101
企業債残高	2,950	3,139	3,032	83	▲ 106

※表中の数字は四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と合計が必ずしも一致しない。

4 令和6年度決算の概要 (3) 工業用水道事業

(百万円、税込)

	中期計画 A	予算 B	決算 C	C - A	C - B
収益的収入 ①	1,981	1,988	2,024	42	35
料金収入	1,692	1,710	1,744	52	34
その他	289	278	279	▲ 10	1
収益的支出 ②	1,751	1,916	1,590	▲ 162	▲ 327
人件費	240	247	223	▲ 17	▲ 24
維持管理費	350	373	304	▲ 46	▲ 69
減価償却費等	723	730	728	5	▲ 2
企業債利息	23	33	17	▲ 6	▲ 16
その他	415	533	318	▲ 98	▲ 216
収支差引 ③=①-②	230	72	434	204	362
資本的収入 ④	270	1,412	823	553	▲ 589
企業債	110	1,186	700	590	▲ 486
国庫補助金	32	35	54	22	20
その他	128	191	68	▲ 59	▲ 123
資本的支出 ⑤	1,330	2,671	1,955	624	▲ 716
整備費	1,008	2,252	1,691	683	▲ 561
企業債償還金	134	134	134	0	0
その他	188	285	130	▲ 59	▲ 155
収支差引 ⑥=④-⑤	▲ 1,060	▲ 1,259	▲ 1,132	▲ 71	127
補 填 財 源 ⑦	734	592	717	▲ 17	125
単 年 度 資 金 収 支 ⑧=⑥+⑦	▲ 327	▲ 668	▲ 415	▲ 88	253
累 積 資 金 剰 余	1,281	933	1,402	121	469
企 業 債 残 高	1,785	3,263	1,993	208	▲ 1,271

※表中の数字は四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と合計が必ずしも一致しない。

4 令和6年度決算の概要 (4) 下水道事業

(百万円、税込)

	中期計画 A	予算 B	決算 C	C - A	C - B
収益的収入 ①	27,045	27,694	26,898	▲ 147	▲ 796
下水道使用料収入	14,392	14,404	14,382	▲ 10	▲ 23
一般会計繰入金	5,898	5,924	5,515	▲ 383	▲ 409
その他	6,755	7,366	7,001	246	▲ 365
収益的支出 ②	26,993	28,338	26,978	▲ 14	▲ 1,360
人件費	1,102	1,057	1,025	▲ 77	▲ 32
維持管理費	6,416	7,568	6,925	509	▲ 644
減価償却費等	16,398	16,516	16,234	▲ 164	▲ 282
企業債利息	1,643	1,338	1,265	▲ 377	▲ 73
その他	1,433	1,859	1,529	96	▲ 330
収支差引 ③=①-②	53	▲ 644	▲ 80	▲ 133	564
資本的収入 ④	13,155	14,248	12,312	▲ 842	▲ 1,936
企業債	6,251	6,809	5,528	▲ 723	▲ 1,281
国庫補助金	4,168	4,535	4,161	▲ 119	▲ 460
その他	2,736	2,904	2,623	▲ 113	▲ 281
資本的支出 ⑤	24,080	24,675	22,581	▲ 1,498	▲ 2,093
整備費	11,503	12,106	10,676	▲ 827	▲ 1,430
企業債償還金	8,567	8,567	8,567	0	0
その他	4,010	4,001	3,338	▲ 671	▲ 663
収支差引 ⑥=④-⑤	▲ 10,925	▲ 10,427	▲ 10,269	656	157
補 填 財 源 ⑦	10,709	9,767	10,007	▲ 702	240
単 年 度 資 金 収 支 ⑧=⑥+⑦	▲ 217	▲ 660	▲ 263	▲ 46	397
累 積 資 金 剰 余	2,525	2,243	3,372	847	1,130
企 業 債 残 高	139,401	141,209	136,100	▲ 3,301	▲ 5,109

※表中の数字は四捨五入による端数調整をしていないため、内訳と合計が必ずしも一致しない。

4 令和6年度決算の概要 (5) 令和6年度の実績

令和6年度は、予算に掲げた事業を概ね予定通りに執行。

	評価（項目数、前年度までに完了及び再掲を除く）			
	a	b	c	d
水道事業（8施策19事業47項目）	38	7	1	1
工業用水道事業（3施策 3事業 3項目）	3	0	0	0
下水道事業（6施策14事業33項目）	25	8	0	0
共通（9施策17事業26項目）	25	0	0	1

※北九州市上下水道事業中期経営計画2025・資料編のP30・P31、P37、P57・P58、P77参照のこと

※評価基準（市行政評価の取組結果における事業評価基準をもとに設定）

- ・評価a：大変良い状況にある（予算に対する事業達成率100%以上）
- ・評価b：概ね良い状況にある（予算に対する事業達成率60%以上）
- ・評価c：概ね良い状況とまでは言えない（予算に対する事業達成率40%以上）
- ・評価d：不十分な状況にある（予算に対する事業達成率40%未満）

【評価c、評価dの事業】

項目	計画値	実績値	評価	備考
2-1-1 水源林の保全				
市民参加人数	360人	42人	d	植樹や草刈への水源地域外からの参加者募集が中止されたことによるもの。これに代えて、イベントを活用した動画放映やちらし配布等を実施
2-2-4 水質管理体制の充実				
外部精度管理結果（良好判定）の取得	2項目以上	1項目	c	検査結果に問題はないものの、検査法の妥当性評価に一部不備があるとの指摘を受け、是正措置を実施
6-1-1 上下水道技術の継承・人材の育成				
インターンシップの受入れ	3件以上	1件	d	依頼に基づき受入れを行っている中、例年と比べて受入依頼が少なかったもの

4 令和6年度決算の概要 (6) 現中期経営計画に対する進捗状況(令和3～6年度の累計)

現中期経営計画に対して概ね予定どおりに事業を執行しているが、一部の事業に遅れが生じている。

【遅れが生じている主な事業】

水道事業

下水道事業

項目	計画値	実績値	達成率	要因等
1-1-1 アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新				
導送水管更新	6.1km	3.6km	59%	労務単価や資材価格の高騰による工事費の増大に伴い、業務量の調整を行った結果、実績値が計画値を下回ったもの。限られた予算の中、配水管更新を優先して実施してきたところ。
配水管更新	149km	126km	85%	
浄化センター・ポンプ場設備の改築・更新	96設備	71設備	74%	労務単価や資材価格の高騰による工事費の増大に伴い、業務量の調整を行った結果、実績値が計画値を下回ったもの。管渠の点検調査（年間110km）を計画通りに行ったうえで、効率的に管渠の改築・更新を実施。
下水道管渠の改築・更新	92km	49km	53%	
1-1-2 上下水道施設の規模の適正化				
配水池の統廃合(黒川・配水管更新)	0.6km	0.2km	33%	基本設計・実施設計に時間を要した結果、整備工事着手に遅れが生じたもの。
1-3-1 上下水道施設の耐震化				
重要な15ポンプ場の耐震化率	66.7%	53.3%	80%	令和7年6月に工事契約済み。
1-3-2 バックアップ機能の強化				
八重洲分岐～城野分岐送水管2条化(送水管整備)	2.2km	0.8km	36%	都市計画道路にあわせて整備を行うこととしており、当該道路工事の進捗によるもの。
2-1-1 水源林の保全				
市民参加人数	1,440人	71人	5%	新型コロナウイルスの影響による事業中止や、植樹や草刈への水源地域外からの参加者募集中止に伴い、市民参加人数が減少したもの。